

弓中だより

(地域版)



田川市立弓削田中学校
令和3年5月19日(水)
学校だより No. 2

文責 松内 隆泰

校訓 自治・親愛・勤労

いじめのない学校にしよう

ゴールデンウィークも終わり、2・3年生が進級、1年生が入学してから早1月が経ちました。行事も健康診断を中心とした日常的なものが主で、校内では落ち着いた時間が流れています。

さて、新しい年度が始まるにあたり毎年のように皆さんに呼びかけている、いじめ等の人権について今年もお話しさせていただきます。現在の弓削田中学校で「いじめ」はあるのかというと、あると答えなくてはなりません。昨年度も田川市の小中学校の中で、認知件数が最も多かったのが弓削田中学校です。というのも、現在の「いじめ」の定義に従い、『校内の人間関係で本人が嫌な気持ちになった』という事案があると、積極的に認知しているからです(なお、これまで認知した事案についてはその都度指導の上で解決し、継続している事案はありません)。励ますつもりで言ったことや、冗談で言ったことでも、それが触れて欲しくないことだった場合は嫌な気持ちになることもありますので、自然と件数は増えることとなります。



よくあるのは、イライラしていたり自分を守りたいときに、思わず他者にあたってしまうことです。悪かったと思っても素直に「ごめんなさい」が言えないときもあるかもしれません。皆さんのように多感な時期にはなおさらなことでしょう。

現在の「いじめ」の定義だと、人に感情やそれぞれの価値観がある以上「いじめ」が完全になくなることはないかもしれません。けれど、その気になれば、なくそうと取り組むこともできるし、解決しようと努力することもできます。「いじめ」が人の気持ちや行動によって起こるのであれば、確実に人によって止めることができます。いじめのない、自分や他者の人権を大切にす弓削田中学校を目指し、みんなで協力していきましょう。

【代表的ないじめの要因となる行為】

- 悪口・陰口(誹謗中傷)を言う、またはそうとられる言動をする。
- 能力や容姿、動作(くせ等)についてマイナスイメージで言う・真似る。
- 本人の趣味、過去の失敗、家族のことなど話題にしてほしくないことを言う。
- 本人の了承を得ていない名前以外の言葉(あだ名等)で表現する。
- たたく、つかむ、ひっぱる等相手の体に触れる。(※異性にするとセクハラも)
- ものを壊す、隠す、無断で使用(許可なく借りる・触る)・持ち出す。
- 行動を邪魔する。 ○相手との相互理解がなく意図的に無視する。

【※ 上記のことに加え、例え悪意がなくても、インターネット(SNS等)上で本人の許可なく個人名や写真を使用し、その人がそれを不快に感じた場合、不特定の人に本人が望まない情報を与え、なおかつ拡散させたということから、いじめ行為になります。】

学校での感染予防対策について

3度目の緊急事態宣言下ですが、本校では、基本的に最初の緊急事態宣言時の感染予防対策を継続して行っています。今後も、状況の変化に応じて、対策の強化及び緩和や取組方法の変更を行っていきます。いずれにしろ、感染防止を目的に、学校がすべきこと、出来ることを適切に実施していきます。

また、今年は昨年より20日ほど早い梅雨入りとなっています。近年は局地的な豪雨等での災害も発生し、学校としても緊急時の対応について保護者との相互理解に努めているところです。地域の方々も、突然の災害に対して様々な取組や準備をされていることと思いますが、状況に応じて、本校の生徒の安全確保にご協力いただけますようお願いいたします。



弓削田中アーカイブ（第5回）

※写真は集団就職のイメージです。

第5回は、昭和32年度から37年度にかけてです。

この期間は、引き続き校舎の整備（西側二階建校舎建築完了、配線工事完了、土俵、高鉄棒、砂場設置等）は行われていますが、基本的な学校の体制も整い、穏やかながらも活気のある生活が続いていたようです。戦後生まれの方々も初めて入学してくる時期でもありました。終戦の年の昭和20年生まれの方は特に少なかったようで、その前後の学年の生徒は250名前後いますが、この年は178名（卒業時）でした。

校内はそのような状況ですが、それを取り巻く地域の変化は大きなものでした。昭和31年には山本作兵衛さんで知られる「長尾鉱山位登炭鉱」の閉山があり（「50年誌」に記載されている最初の閉山（閉鎖）は昭和28年の江田鉱業所）、その後も筑豊の炭鉱が次々と閉山し、就職先が少なくなってきました。この頃は高校進学率も高くない就職する生徒も多かった（昭和35年の全国平均で40%くらい、家庭の事情による場合もあった）のですが、当時は高度経済成長の影響で関東や関西での求人が多く（中卒就職生は「金の卵」ともいわれた）、15才という若さで田川を離れ社会に出る生徒も多かった時代でもありました。弓削田中学校からも就職をした人が多数いたことでしょう。



現在は高校進学率も98%（中学校卒業後の就職率0.4%）を越え、ほとんどの人にとって中学校は通過点に過ぎません。けれど、現在の平和で豊かな日本は、中学校が最後の学生時代であった人たちの苦労や努力もあって築かれたことを、私たちは記憶に止めておくべきではないかと思います。

5月・6月の予定

5月	27日（木）	3年生	全国学力・学習状況調査
6月	8日（水）	全学年	中学生の未来に贈るコンサート ※実施検討中
	12日（土）	全学年	土曜授業
	15日（火）	1・2年生	福岡県学力調査

※ 1年生の「エンジョイスクール」、及び「歯科検診」、「眼科検診」は、緊急事態宣言の発令もあり、延期としました。

